

中島 欣一 (Kinichi Nakashima)

〔原著〕

1. Matsuda T., Murao N., Katano Y., Juliandi B., Kohyama J., Akira S., Kawai T. and *Nakashima K. (2015). TLR9 signalling in microglia attenuates seizure-induced aberrant neurogenesis in the adult hippocampus. *Nat Commun* *6*, 6514. doi: 10.1038/ncomms7514.
2. Noguchi H., Kimura A., Murao N., Matsuda T., Namihira M. and * Nakashima K. (2015). Expression of DNMT1 in neural stem/precursor cells is critical for survival of newly generated neurons in the adult hippocampus. *Neurosci Res* doi: 10.1016/j.neures.2015.01.014
3. Hamazaki N., Uesaka M., Nakashima K., Agata K. and *Imamura T. (2015). Gene activation-associated long noncoding RNAs function in mouse preimplantation development. *Development* *142*, 910-920. doi: 10.1242/dev.116996
4. Murao N., Matsuda T., Noguchi H., Koseki H., Namihira M. and * Nakashima K. (2014). Characterization of Np95 expression in mouse brain from embryo to adult: a novel marker for proliferating neural stem/precursor cells. *Neurogenesis* *1*, 1-11.
5. Guo W., Tsujimura K., Otsuka I.M., Irie K., *Igarashi K., * Nakashima K. and *Zhao X. (2014). VPA Alleviates Neurological Deficits and Restores Gene Expression in a Mouse Model of Rett Syndrome. *PLoS One* *9*, e100215. doi: 10.1371/journal.pone.0100215.
6. Abdulhaleem M.F., Song X., Kawano R., Uezono N., Ito A., Ahmed G., Hossain M., Nakashima K., Tanaka H. and *Ohta K. (2014). Akhirin regulates the proliferation and differentiation of neural stem cells in intact and injured mouse spinal cord. *Dev Neurobiol* doi: 10.1002/dneu.22238.

〔著書・総説〕

1. Adekun A.M., Kimura A., Noguchi H., Nakashima K. and *Namihira M. (2014). Epigenetic mechanisms regulating differentiation of neural stem/precursor cells. *Epigenomics* *6*, 637-649. doi: 10.2217/epi.14.53.

2. Imamura T., Uesaka M. and *Nakashima K. (2014). Epigenetic setting and reprogramming for neural cell fate determination and differentiation. *Philos Trans R Soc Lond B Biol Sci* 369: 20130511. doi: 10.1098/rstb.2013.0511
3. Yamamoto N., Uesaka M., Imamura T. and *Nakashima K. (2014). Role of Epigenetics in the Neural Stem Cells and Neuron. in *Epigenetics in Psychiatry* (eds. Peedicayil, J., Grayson, D.R. & Avramopoulos, D.) 51-78 (Elsevier)
4. 山本博之、野口浩史、中島欽一(2015)胎生期および成体における神経幹細胞の特性と分化制御機構. 実験医学増刊号、Vol.33 No.2、33-40
5. 上蘭直弘、中島欽一(2014)神経幹細胞分化制御の脊髄損傷移植治療への応用. 脳神経系の再生医学、131-138
6. 中嶋秀行、中島欽一(2014)神経幹細胞の分化能のエピゲノム制御. 医学のあゆみ、Vol.251、Nos12,13、1137-1141
7. 安井徹朗、松田泰斗、上蘭直弘、中島欽一(2014) 神経再生医療におけるエピジェネティクス. エピジェネティクスの産業応用、350-361

〔国際学会〕

1. Katada,S., Honda,M.,Nakashima, K.: Oxygen regulates fate specification of neural stem cell during cortical development. KEYSTONE SYMPOSIA, Santa Fe, February 22-26, 2015

〔国内学会〕

1. 山本博之、野口浩史、佐野坂司、中島欽一: 胎生期のマウスの脳におけるアストロサイト誘導性サイトカイン産生細胞の同定、第37回日本分子生物学会年会、パシフィコ横浜、2014年11月25～27日(27日)(ポスター)
2. 木村文香、野口浩史、大塚まき、五十嵐勝秀、今村拓也、波平昌一、中島欽一: 神経細胞特異的DNMT1欠損マウスにおける不安様行動誘発メカニズムの解明、第37回日本分子生物学会年会、パシフィコ横浜、2014年11月25～27日(25日)(ポスター)
3. 村尾直哉、松田泰斗、野口浩史、古関明彦、波平昌一、中島欽一: ヘミメチル化DNA認識因子NP95/Uhrf1による成体海馬ニューロン新生制御メカニズムの解明、第37回日本分子生物学会年会、パシフィコ横浜、2014年11月25～27日(25日)(ポスター)
4. 本田瑞季、堅田明子、中島欽一: PRMT1による神経幹細胞のアストロサイト分化およびニューロンの移動制御、第37回日本分子生物学会年会、パシフィコ横浜、2014年11月25日～27日(25日)(ポスター)

5. 上蘭直弘、安井徹郎、松田泰斗、藤元祐介、精松昌彦、西堀正洋、小宮節郎、中島欽一：抗HMGB1単クローン抗体の脊髄損傷治療への応用、第29回日本整形外科学基礎学術集会、城山観光ホテル、2014年10月9日～10日(9日)(ポスター)
6. 辻村啓太、入江浩一郎、中嶋秀行、江頭良明、深尾陽一郎、藤原正幸、伊藤雅之、高森茂雄、中島欽一：レット症候群原因因子MeCP2による興奮性シナプス伝達制御の分子基盤、第37回日本神経科学大会、パシフィコ横浜、2014年9月11日～13日(13日)(シンポジウム)
7. 堅田明子、本田瑞季、中島欽一：神経幹細胞分化における発生期酸素濃度の影響、第37回日本神経科学大会、パシフィコ横浜、2014年9月11日～13日(12日)(ポスター)
8. 本田瑞季、堅田明子、中島欽一：胎生期マウス神経幹細胞におけるタンパク質アルギニンメチル基転移酵素PRMT1の機能解析、パシフィコ横浜、2014年9月11日～13日(11日)(ポスター)
9. 浜崎伸彦、上坂将弘、阿形清和、中島欽一、今村拓也：マウス初期胚の全能性を支える遺伝子を活性化するノンコーディングRNAの同定、第107回日本繁殖生物学会大会、帯広畜産大学、2014年8月21日～24日(21日)(口頭)
10. 五十嵐勝秀、大塚まき、中島欽一：今後のエピジェネティック毒性研究への提言、第41回日本毒性学会学術年会、神戸コンベンションセンター、2014年7月2日～4日(4日)(シンポジウム)
11. 中嶋秀行、辻村啓太、入江浩一郎、中島欽一：Functional analysis of MeCP2, the Rett syndrome responsible factor, in neural stem cells、第12回幹細胞シンポジウム、九州大学医学部百年講堂、2014年5月30日～31日(31日)(ポスター)
12. 村尾直哉、松田泰斗、古関明彦、波平昌一、中島欽一：Analysis of mechanisms underlying neurogenesis in the adult hippocampus regulated by hemimethylated DNA recognition factor, Np95/Uhrf1、第12回幹細胞シンポジウム、九州大学医学部百年講堂、2014年5月30日～31日(31日)(ポスター)
13. 松田泰斗、村尾直哉、片野友貴、Juliandi Berry、審良静男、河合太郎、中島欽一：TLR9 signaling in microglia suppresses seizure-induced aberrant neurogenesis in the adult hippocampus、第12回幹細胞シンポジウム、九州大学医学部百年講堂、2014年5月30日～31日(31日)(ポスター)
14. 上坂将弘、西村 理、中島欽一、阿形清和、今村拓也：Potential role for species-specific promoter-associated non-coding RNA in the diversification of mammalian brain、第47回日本発生生物学会、ウイנקあいち、2014年5月27日～30日(ポスター)

15. 山本直樹、上坂将弘、中島欽一、阿形清和、今村拓也：PC12細胞分化過程におけるエピジェネティクス制御に関わるpromoter-associated noncoding RNAの機能、第8回日本エピジェネティクス研究会年会、東京大学伊藤国際学術研究センター、2014年5月25日～27日(27日)(ポスター)
16. 浜崎伸彦、上坂将弘、阿形清和、中島欽一、今村拓也：Sequence-specific epigenetic alteration by promoter-associated noncoding RNAs in the early mouse embryo、第8回日本エピジェネティクス研究会年会、東京大学伊藤国際学術研究センター、2014年5月25日～27日(27日)(ポスター)
17. Chiara Soldati、Ronald Garvilles、田嶋正二、中島欽一：Effect of DNMT1 mutations in neuronal differentiation from neural stem cells、第8回日本エピジェネティクス研究会年会、東京大学伊藤国際学術研究センター、2014年5月25日～27日(27日)(ポスター)
18. 本田瑞季、堅田明子、中島欽一：胎生期マウス神経幹細胞におけるタンパク質アルギニンメチル基転移酵素PRMT1の機能解析、生化学若手九州支部、熊本大学、2014年5月3日(口頭)

〔招待講演・セミナー〕

1. 中島欽一：HDAC阻害剤バルプロ酸による神経幹細胞制御とその作用、第14回日本再生医療学会総会、パシフィコ横浜、2015年3月19日～21日(21日)
2. 中島欽一：神経幹細胞移植による脊髄損傷治療、第88回日本薬理学会年会、名古屋国際会議場、2015年3月18日～20日(18日)
3. 中島欽一：発生期脳における神経幹細胞のアストロサイトへの分化能獲得及び分化誘導機構、リスクサイエンス研究フォーラム2015、福岡大学セミナーハウス、2015年3月9日
4. 中島欽一：細胞外因子による神経幹細胞のエピジェネティック制御とその影響、科学研究費補助金新学術領域研究第2回公開シンポジウム、九州大学コラボステーション I、2014年10月31日
5. 中島欽一：幹細胞移植と損傷部位保全による脊髄損傷治療、第29回日本整形外科学基礎学術集会、城山観光ホテル、2014年10月9日～10日(10日)
6. 中島欽一：HDAC阻害剤バルプロ酸による神経幹細胞制御とその影響、第57回日本神経化学学会大会、奈良県分代会館、2014年9月29日～10月1日(29日)
7. 中島欽一：DNA脱メチル化による神経幹細胞のアストロサイト分化能獲得、第37回日本神経科学大会、パシフィコ横浜、2014年9月11日～13日(12日)

8. 中島欽一:HDAC阻害剤による神経幹細胞制御とその影響、第54回日本先天異常学会
学術集会、麻布大学、2014年7月26日～27日(26日)
9. 中島欽一:幹細胞移植による脊髄損傷治療と損傷部位環境整備の重要性、第55回日本
神経学会学術大会、福岡国際会議場、2014年5月21日～24日(24日)
10. 中島欽一:神経幹細胞移植による損傷脊髄機能の修復、第115回日本耳鼻咽喉科学会
総会・学術講演会、ヒルトン福岡シーホーク、2014年5月15日
11. 中島欽一:抗てんかん薬バルプロ酸による神経幹細胞制御とその作用、第4回 Kyushu
Neuroscience Conference、ANAクラウンプラザホテル福岡、2014年4月4日

〔研究助成金〕

- ・ 平成23-28年度 科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業 研究領域：エピゲノム
研究に基づく診断・治療へ向けた新技術の創出「精神疾患のエピゲノム病態の解明
に向けた新技術創出」研究分担者 中島欽一
- ・ 平成24-26年度 精神・神経疾患研究開発事業 「精神神経疾患の原因・関連遺伝子
に関する基盤的開発研究」 課題番号：24-12 研究分担者 中島欽一
- ・ 平成24-27年度 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤A 「マイクロRNA生合
成経路攪乱による神経発達障害発症の新規分子基盤の解明」 課題番号：24240051
研究代表者中島欽一
- ・ 平成25-26年度 日本学術振興会科学研究費助成事業 新学術領域 「神経発達障害
におけるシナプス病態の分子基盤解明」 課題番号：25110721 研究代表者 中島欽
一
- ・ 平成25-26年度 日本学術振興会科学研究費助成事業 新学術領域 「抗てんかん薬
バルプロ酸胎生期暴露による脳構築及び行動異常解析」 課題番号：25123714 研究
代表者 中島欽一

特許出願・取得状況

該当なし

雑誌編集

該当なし

受賞

該当なし

学会主催など

1. 中島欽一 第8回神経発生討論会（年会長）、九州大学、2015.3.19-20